京城日報

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 印刷人 小川三之介

京城日報 米價暴落と小農者の窮乏

米價の暴落は、農家に對する革命的影響と云ふべく、殊に納税期に入れる農家の苦痛は、極度に達して、若し此分に放置せんか、農村經濟の由々敷大問題を惹起するや必然なることは、國者地方より頻々報じ來る處の報道である。今其の情況を聞くに、昨年迄は、五十圓乃至六十圓の金子を調達するに、僅に二石乃至三石の籾にて充分なりしものが、本年は、米價暴落の爲めに、前記の金子を調達せんとするには、少くとも五六石の籾を賣却せねばならぬ狀態で、小農者の如きは、舊正月迄の持ち越しは、頗る困難であらうと觀測されて居る。殊に納税期に際し、其だしき不當の叩き値段を以て、之が買付けを試みんとする內地商の商人あり、小農者の困憊は、殆ど名狀すべからざるものがあるやうである。京畿道管內の昨年度に於ける小農者の收入の如きは、鷄くの少ないのであるが、此に依つて見ても小農村憑の狀況が察せらるゝのである。殊に小農者の痛苦に堪へざるものは、昨年の旱魃救濟に對する還付である。自然の成り行きとは申し乍ら、事情を聞いて見れば、同情せざるを得ないのである。即ち昨年の旱魃に當りて、政府の如きは、收穫絶無にして、食糧にさへ困難を感じたる折柄、當局は之れが救濟方法として、殖銀をして資金を融通して、滿洲粟を購入せしめたのである。當時粟一石の價を二十七圓に換算し、收穫を待つて返償せしむることゝなつた。又東拓よりは肥料として大豆粕一個を五圓七十錢の勘定にて水利完備田に付け、是亦收穫を待つて支拂はしむることゝなつた。窮乏せる農家は、天の助けと喜んで、何れも八九斗以上宛の貸與を受けたのである然るに本年は近年稀なる豐稔なるにも拘らはず、米價は暴落に暴落を續け、農家は滿洲粟の代償に附付を受けた時の返償するに、其收穫の全部を擲け出しても尚ほ且つ不足を生ずるの慘狀を呈するに至つたのである。地方の農民は、債務履行の對策に窮し、眞に同情に堪へざるものありとのことである。

吾人は寡聞にして、當局が之れに對して、如何なる對策を講じつゝあるかを聞かぬ。當局としては、勿論之に對する對策を講じて居るに相違あるまい。殖産銀行に於ては、不動産擔保の長期貸付けに依り、廣く農工業者の各方面に亘りて、固定したる資金の振替方法を講じつゝありしが、今回更に生産者方面に對する米穀擔保の短期貸付を開始し、以て歳末金融緩和の一手段たらしめんとし、目下之れが實行方法を講究しつゝあり。吾人殖産銀行の時宜の處置に對して、敬意を表せねばならぬ。願くば出來るだけ、小農者の救濟と云ふことを念として、米穀擔保の貸付を一日も早く實行して貰いたいものである。此機會に於て、吾人は朝鮮の地主諸君に一言せねばならぬ。地主諸君は小作人に對して、餘りに溫情が缺けて居るやうである。小作人は、地主の爲には、實に大切なもので、若し小作人がなかつたならば、一粒の米も生産することは出來ないのである。或は之に抗辯して、地主の土地があればこそ、彼等小作人は生存して居るのだと言ふかも知れないが、斯く言へば、勿論双方に相當の理由はある。けれども小作人は實に弱者中の弱者であつて、動もすれば一家離散の悲境に立たねばならぬ。地主の對境に至りては、今年の如き米價の暴落に遭へば、假へ多少の收入を減ずることはあるも、之が爲めに一家離散の慘狀を呈するが如きは、決して有り得べからざることである。況んや主從の關係を有する者においてをやである。金融の途は、既に殖銀に於いて開かれて居る。地主諸君は、我が小作人の代表者として、宜しく銀行との交渉の任に當り、救濟の途を講ぜよ。是れ當然の沙汰である。吾人は切に地主諸君の反省を促すものである。

英首相の演說 國際聯盟總會は成功せり

英首相ロイドジョージ氏はゼネヴアの聯盟會議に列席せし英領殖民地代表者を下院の晩餐會に招待し其の席上に於て主催者として一場の演說を試みて曰く今次の國際聯盟總會は成功を收めたるが就中國際裁判所設置は其最も顯著なる功績なり然れども世界各國恐らく聯盟に加入して其代表者を總會に送るに迄は聯盟の眞の目的を達する能はざるべし(倫敦電報)

和軍維納派遣

和蘭外相ダンカネベツト氏は和蘭軍派遣軍隊を維納に派遣するの承認を求むる議案を下院に提出せり同派遣軍隊は人民投票執行中維納地方を占領すべき國際警備軍の一部たるべきものなり(二十二日海牙電報)

將來の教育施設 面目を一新すべき朝鮮教育界

朝鮮に於ける教育政策は將來ますます其實質を改善すると共に一層普及擴充の方針を執るべきことは當局の屢々言明せる所にして本紙にも斷片的に報道せる所なるが今之を一括して將來の施設を概述せんに先づ

高等教育 に就いて

は近き將來に於いて京城に一個の綜合大學(或は單科大學)を設立するの目的を以て種々の調査を進め居れるが若し綜合大學を設くるとせば現在の醫學、工業、商業、農林各種專門學校の組織を改め之を綜合して一個の帝國大學と爲すべく若又單科大學を設くるを以て朝鮮の事情に適應するものとせば以上の各專門學校を單獨に昇格する樣になるべきも時代の要求は前者に在つて後者に在らざることは極めて明かなる所なれば好し一旦は醫科大學の如き單科大學を設けらるゝことありとするも所詮綜合大學の現出に歸着すべきは殆ど疑ひを容れず、そこで差當つて之が必要の準備として

高等學校 を創設し

大學豫備門を開かざるべからず大正十年度新豫算に於いて之に要する費用約二十萬圓(建築費)の支出を國庫に要求しつゝあるが既に閣議の容るゝ所となれるも帝國議會を無事に通過すべきや否やは未定のことなるも十中八九は有望の見込にて其の敷地の如きも既に內定せり

中等教育 に在つて

は教育令の改正に因つて補習科を置き略內地の中學校と同程度の教育を授くることを得る樣になれるが將來は勿論五學年制に改正せらるべく(此の場合となれば補習科は不用に歸すること勿論なり)普通學校の二學年延長と相待つて高等普通學校と高等學校と聯結を得たる譯なれば一旦高等學校の開校せらるゝ場合には獨り中學校よりばかりでなく高等普通學校よりの入學者を見るに至るべきなり而して既設の高等學校は五校のみなるが現に京城に一校、新義州に一校の增設を爲しつゝあれば大正十年度には全道七校を算するに至るべく、中學校も亦來年度に於いて元山大邱に一校づゝ設立する豫定にて是等の創設費は前記高等學校費を合せ百六萬圓なり

初等教育

の施設は當局の最も苦心する所にして現在は約四面に一校の割合なるも大正十一年までを期し三面一校の割に擴張するの計畫にして大正十年度に於いては約百校の增設を見るべく之に要する經費は學校評議員に於いて評決の末に地方費に賦課すると共に國費より一校につき一萬圓の臨時補給を爲し又經常費に每年一千二百圓を補給すべく猶將來の理想としては追々進んでは一面一校の域に進まざるべからざるも是は現在の計畫以外に在り而して各地に存在する書堂は當分之を存置し補助機關とするは止むべからざる所なるが現在のまゝにては教育の效果を擧ぐるに甚だしく不完全なるを以て其の內容を改善するの必要を認め何等かの方法を設くべきであるが差當つて新教育を受けたる教員を配置することを最急務とすべし、以上增設學校其他に配置する教員の供給は當分之を內地に需め又現在中學校高等普通學校に於いて養成しつゝあるものを配當すべきも將來は朝鮮に於いて正式に之を養成するの必要を認め現に講習院跡に

師範學校

一校を建設しつゝあり是には內地人子弟の志望者を收め師範教育を施す筈なるも將來は更に朝鮮人の志望者を收容するものを設立すべき計畫を立てつゝあり、教育機關を完備するに從ひ

經費の增加

は免るべからず顧みて併合當時の教育費を見るに總額に於いて五十萬圓內外に過ぎざりしも現今は十倍して五百萬圓に達し居れり來年度に於いては又二圓の增加を來すべく右につき朝鮮人の負擔額は當初一戶六錢內外當りより本年度の一圓內外に達し來年度は更に二三圓の增加を見るべし然しながら朝鮮人の多數は寧ろ之を甘受するものゝ如く彼の教育令の改正の如きも好感を以て迎へつゝあれば將來學校評議員會の評決の如きも好結果を奏すべきを疑はず又

教育調査會

の如きも本年中には任命發表を見るべく彼の綜合大學か單科大學かといふ樣なる諸問題を諮詢せらるべきが其の答申の決定は朝鮮教育の將來に大なる貢獻を爲すべきはいふまでもなし云々(某當局者談)

議會開會詔書

第四十四議會は二十五日を以て成立を告げたるにつき原首相は同日右の趣を葉山御用邸に奏上の手續をなせるが二十六日は日曜日につき即日官報號外を以て左の如く議會開會の詔書公布せられたり(東京電報)

詔書

朕帝國憲法第七條及ヒ議院法第五條ニ依リ十二月二十七日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御璽

大正九年十二月二十五日

各大臣副署

開院式は廿七日

二十五日の官報號外を以て二十七日第四十四議會開院式を行はせらる、旨左の如く仰出されたり(東京電報)

宮內省告示第三十七號

來る十二月二十七日帝國議會開院式を行はせらるべき旨仰出されたり

大正九年十二月二十五日 宮內大臣 男爵 中村雄次郎

本年貿易總決算

本年の對外貿易の大勢既に定まり輸出入相殺の結果入超三億八千萬圓の巨額は免れ得ざるべしとの財界の推測は既に其當時の推測せるが之に對し大藏省の豫想によれば入超を五億七千五、六萬圓とするも年末受取勘定ありコワ世人の推測以外に多くして其一例を擧ぐれば貿易運賃保險料の如きは一般に三億圓程度と稱し居るも實際は一億圓以上に上るべく其他運賃保險料移民送金公債利子等を合して一億五千萬圓之に其他の受取勘定二千萬圓を合すれば三億圓以上になりタトヒ五億七千五、六萬圓の支拂を要するとするも受取勘定三億以上あり結局二億七千萬圓を超過するが如き事なかるべし(東京電報)

九代議士 庚申倶樂部に入會申込

無所屬中正剛、押川方義、松本君平、大濱忠三郎、山本厚三、山根淺次郎、秋田鉛太郎、佐々木安五郎(外一名氏名不明)の九氏は二十五日庚申倶樂部に奧村、上畑、鉄田、松下四氏を介して入黨を申込みたるを以て庚申倶樂部にては直に九氏の入會を許すや否やを協議したるが若し諸氏の入會を許すに於ては十三四名の脫會者を出すやも知れずとてこれを許さざる形勢となりしが南氏は右協議會に出席し余は我が倶樂部員の一人も多からん事を希望する今回無所屬より特に我黨に入會申込みありたるにこれを許せば他に脫會者を出すやも知れずとて其入會を拒絕すべしとの事なれば予は斯かる會より脫會すべしと聲明したるを以て入會を許すや否やに就ては更に追つて協議會を開く事とし何等の決定を見ずして散會せり(東京電報)

兩院の部長理事

衆議院及び貴族院に於る部長理事は左の諸氏當選せり(東京電報)

衆議院

第一部長	樋口伊之助
理事	星島二郎
第二部長	岡崎邦輔
理事	上塚司
第三部長	天春文衛
理事	三木武吉
第四部長	戶狩權之助
理事	釜谷[illegible]
第五部長	根本正
理事	竹上藤次郎
第六部長	齋藤[illegible]
理事	田中武雄
第七部長	長島[illegible]
理事	森[illegible]
第八部長	遠藤良吉
理事	岩切重雄
第九部長	早川龍介
理事	牧野良三

貴族院

第一部長	侯爵 德川賴倫
理事	男爵 [illegible]
第二部長	侯爵 細川護立
理事	江木千之
第三部長	侯爵 蜂須賀正昭
理事	伯爵 清棲家教
第四部長	公爵 德川慶久
理事	仁尾惟茂
第五部長	男爵 小[illegible]
理事	山川健次郎
第六部長	侯爵 德川[illegible]
理事	內田嘉吉
第七部長	伯爵 吉井[illegible]
理事	服部一三
第八部長	子爵 豐岡圭資
理事	何禮之
第九部長	侯爵 鍋島直大
理事	淺田德則

面吏の自治見學 全羅北道の試み

朝鮮全羅北道面吏員三名を內地に送り自治の見學をなさしむる由なるが內務省當局の談に依れば先づ東京の模範町村として瀧野川町の役場を選む由なるが同役場にては三名の爲め一室を與へ自治に關する總てを親切に見學せしむる筈なり(東京特電)

憲政院外團決議

憲政會院外團は二十五日午後二時より本部樓上に於て大會開催加藤、富田、河崎、柵瀨各前代議士を始め二十餘名出席富田氏議長席について普選案に對する態度決定の協議をなし之に關し協議の結果左の決議を可決散會せり(東京電報)

決議

現下の政局に鑑み普通選擧に關してはつとめて他派との協調を保ち一致の行動に出でん事を期す

右決議す

憲政會代議士會 院內役員決す

憲政會議員總會は二十五日午後二時より本部樓上に於て開會されたり加藤總裁を始め箕浦、安達、武富、濱口、關、河野、江木、橋本各顧問其他所屬代議士百十數名出席し大津代議士會長席につき開會の辭を述べたる後院內役員等を加藤會長より左の如く指名したり

院內總務 箕浦勝人
同 下岡忠治
同 關和知
院內幹事 太田信治郎
同 小野眞行
同 齋藤巳三郎
同 山道襄一
同 小山松壽
同 佐々木千秋
同 定行八郎
同 森逸三
同 佐藤啓

夫より對議會策につきて協議し當日の大問題たる普選問題につきては普選同盟會の經過並に國民黨との交渉顛末を報告する所ありたるが尚種々の意見續出したるも結局無議を慎重する條件にて國民黨と交渉することに決し散會せり(東京電報)

朝鮮製紙總會 重役の改選

朝鮮製紙會社にては二十五日丸の內銀行集會所にて定時株主總會を開き營業報告並に利益金處分案を可決し任期滿了に就ける重役全部改選の結果高野、吉田二氏を除く外全部留任し高野氏の後任は當分缺員のまゝ午後三時散會せり(東京電報)

豫算編成略決す 諸事業の計畫成る 嶋安次郎氏の談

滿鐵理事

本年度豫算に係る任務を帶び東上の途次二十五日夜入城二十六日朝出發せる滿鐵理事嶋安次郎氏は左の如く語る

昨年以來の問題たりし鮮鐵移管問題は兎も角も依然社營として落着し

增資及社債

の件も尚能く決定したるを以て此の上は來年度豫算に對し諸事業の計畫が既に大體に於て進捗せるので先づ達成れるを以て隨つて豫算の編成も大略決定し居れり豫算計上せる總額は一億二三千萬圓に達したるが內閣の內承認を得る必要上杉浦理事が年末中に携帶東上の豫定なり

野村本社長

は年末歸連の豫定なりしが、豫算承認の提出關係ありたるものか來春一月二十日頃歸連することゝなれり、而して二十四日の京城日報紙上に見えたるが、中西副社長及び久保京管局長の辭職說は社傳にして何等か爲にする者の流說に外ならず滿鐵社內の小黨士連が云々とあるは隨つて社內に早晚

第一次淘汰

行はるゝを意味するが如く觀察せらるゝなるが之に對する予の意見は目下の處辭職せざるを得ざる所なり然し幹部の辭職するが如きことは斷じて之なく副社長に於ても目下頗る元氣にして問題の一段落を告げたる今後の施設に對し勇往邁進すべきなり久保理事は始終多忙中に介在して能く

圓滿に處する

重要人物として『退社』等のことあるべき理由なし去れば揣摩臆說の出所に對しても或は早晚何等かの實現を見るや其邊の所は余の未だ與つて知らざる處なり何れにしても社事の安定したる來春よりは活氣を呈することゝなるべし云々

歳末金融 (下) 無事越年か

前號記述の如く例年の活氣を缺ける爲金融界に於いても米豆類に對する漸騰資金の需要に稍見るべきもの有る外、買付資金及輸移入資金の需要は頗る閑散で試みに之を十二月十五日現在に於ける各地組合銀行の帳尻に徵するも預金は九千百萬圓にして十一月末に比し三百五十萬圓の減退なり貸出金の一億百萬圓には殆ど增減なく之を前年末に對比せんか

五千萬圓

以上の激減なり十五日現在貸行高は一億百萬圓にして十一月末に比して三百萬圓の膨脹に過ぎず尤も米價は中旬に入り例の內地に於ける不良商品問題等より氣配好調となり下旬に入ると共に一段の強味を加へ來たること迄が年末に近づくに伴れ貨物も現はれたる模樣に比すれば若しき傾向あり要するに朝鮮の經濟界は歳末に際しても依然

不振の感

を脫し得ざる狀態なるが一面三月以降の反動來に因る商界の創痍も爾來八箇月の間に相當の淘汰整理を經て一時財界の暗礁と目せられし滿洲業の如きも十一月に亘り北支那及滿地向取引盛に行はれ爲に因る當業者の損失は兎に角下り廻布は相當の持越を餘儀なくせられたる模樣なるが綿絲布類は漸く一掃せられ其他支那向の解合も順調に進捗し仕入の手控や取引の實行に依り今や專ら

在荷薄

を唱へ相場も內地の軟勢に添ひ難き傾向を示し居れる狀態にあり一方銀行業者の手許が緩和せられたに伴れ救濟的資金も漸く放出せられ懸念せられたる本年の歳末も大勢上平穩に越年し得べき見込なり

公會私會

▲前田司令官招宴 前田憲兵司令官は同部出入記者團を招待し二十六日午後六時半より料亭花月に於て盛宴を張りたるが談論風發主客十二分の歡を盡して十時散會せり

▲地方法院忘年會 京城地方法院々長檢正以下判檢事書記四十餘名は料亭南山莊に於て二十五日夜盛大なる忘年宴會を催ふせり

人事消息

▲島安次郎氏(滿鐵理事) 二十五日夜入城二十六日朝東上

▲佐藤中佐(第二十師團高級參謀) 海州地方へ出張中の處二十五日夜歸任

▲服部主計正(二十師團附) 同上

▲橋大尉(二十師團副官) 同上

▲渡邊銳氏(新任安東驛長) 公主嶺より二十四日着任(安東縣)

▲田代準次郎氏(新任長春運輸事務所庶務係長) 一兩日中安東縣赴任の筈(安東縣)

赤池警務局長 新義州、安東縣地方に出張中のところ廿九日夜

新年號 新家庭

口繪寫眞
あかつき 石版十二色 杉浦非水
雪 オフセット十二版 鏑木清方
三色版 横山彰子 其他油繪
二色版 春日神社及東洋幼稚園
寫眞版 幼稚園めぐり外數十頁

呪咀 德田秋聲
秋聲氏が特に力を注がれし長編連載物なり 夫の歸朝を今日か明日かと待わびてゐた浦子が突然離緣狀を受取り色々思ひ惱む女の心持

不思議な笛 秋田雨雀
近頃の幽靈 芥川龍之介
或名工の話 武者小路實篤
クリスマス王樣 久保田万太郎
骨牌の思出 吉井勇
ランス紀行 三島章道

[illegible] 短篇小說 泉鏡花
非常に子供嫌ひな圭吉が近所の赤坊の無邪氣な笑顏や天眞神の如き動作につり込まれて遂に子供好きになる面白い獨得な小說

兒童教育の改善に就て
愛の子供 島村民藏
子供の寶 西村伊作
學校と冬季傳染病 長尾美知
幼稚園時代の教育 川田鐵彌
小學校時代の教育 高橋鐵藏

流行の話 平山蘆江
食味通談 岡野知十
畑から來なよお父 有島武郎
短歌 西海の日 與謝野晶子
童話 海山小唄 西條八十
私どもの生活 西村アヤ
衣裳進化と其心理 長谷川如是閑
若き女性へ 大庭柯公
最近音樂の傾向 近衛秀麿

夕雲 長田幹彥
早大教授となりし新歸朝者の愛の生活に先立つて綾子の前には恐しい災が展開されました

定價壹圓廿錢 玄文社發行 振替東京一四一七七

第拾期決算報告 (自大正八年十二月一日 至大正九年十一月卅日)

貸借對照表

資產: 未拂込資本金 營業勘定 小口當座 土地家屋 機械器具 營業什器 製品勘定 旅費貯金 未經過保險料 荷包材料 假出金 銀行當座預金 受取手形 有價證券 原棉有高 製品有高 當期缺損金 計

負債: 資本金 法定積立金 社員身元保證積立金 機械器具償却積立金 缺損補塡積立金 支拂手形 假受金 未配當金 前期繰越金 計

損益計算: 當期缺損金 前期繰越金 缺損補塡積立金 差引當期純損

(金額 [illegible])

右之通に候也
大正九年十二月
朝鮮製絲株式會社
追而取締役及監査役改選ノ處何モ重任致候

京城本町一丁目 大阪屋

化粧品 舶來化粧品 ランプ 商品券

十二月十六日より クリスマス デコレーション

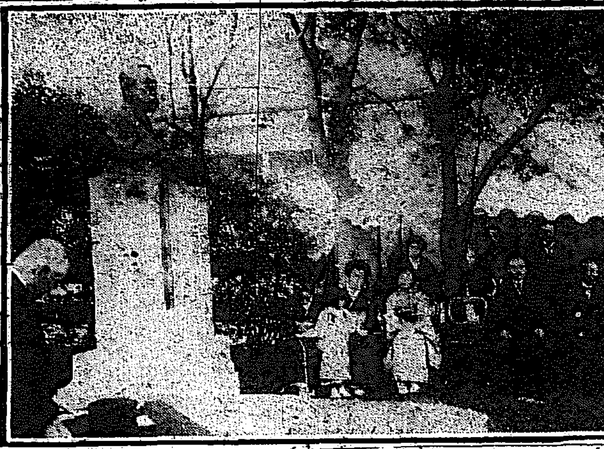
トーイブック お伽噺 玩具 硝子器 組合せ文房具 萬年筆

クリスマス及び歳末贈答品

△電話賣買人 京城南大門通一ノ一 電話八 加來榮太郎

公告
仁川倉庫株式會社は大正九年十一月廿五日株主總會の決議に依り解散したるに付同社に債權を有せらるゝ人は大正十年二月廿五日迄に請求せられ度若し前記期間內に御申出無之時は其債權は清算より除斥せられ候條此段公告候也
大正九年十二月
仁川倉庫株式會社
代表清算人 吉田秀次郎

商業登記公告
株式會社朝鮮殖産銀行社債償還ノ方法及期限 社債總額金五拾萬圓ノ償還ハ大正八年十二月十五日ヨリ同年十二月迄ニ据置キ爾後每年同月同日ニ金五萬圓宛償還シ大正十四年十二月十五日迄ニ全額ヲ償還スルモノトス 右登記ス
大正九年十二月二十日
京城地方法院 仁川支廳



青山博士銅像除幕式

醫學界の巨人故青山博士を記念すべく新海竹太郎氏の手になれる銅像が此程竣成したので廿三日午後三時帝大内に於て除幕式を擧行した(寫眞は綱を引きつゝあるが令孫スミ子さん後なるは未亡人及び親族)

不穩文書犯人は社會主義者? 名古屋で一名を引致 嚴重取調中 檢事局引續き大活動

全國各地軍隊並に警察其の他に不穩文書を送達したる犯人の捜査に就ては愛知縣警察部名古屋地方裁判所檢事局に於て一種の手掛りを得たることは既報の如くなるが俄然廿三日午後地方裁判所判檢事は高等課刑事を從へ名古屋市中區鍛冶町社會主義者鈴木楯夫(三)方に臨檢し嚴重なる家宅捜索を爲し多數の書類を押收し同時に楯夫を引致し名古屋未決監に收監秘密裡に嚴重取調べ中なるが同事件は益發展の模樣にて他にも數名の拉致を見る可く取調べ中又同市江川町在住朝鮮人張世行方も家宅捜索を行ひたり因に各地に發送せられたる不穩文書は舊式活字にて印刷せられたるものなりと(名古屋電報)

岡山で贋造紙幣 百圓券十萬圓を作成すべく企てゝ 新見署に逮捕さる

岡山縣警察部並に新見警察署にては數日前より極めて秘密裡に捜索の步を進めつゝありたるが二十三日に至り突然眞庭郡湯原良力初太郎、武田幾太郎外三名を新見署に引致し取調べを行ひたるが聞く所に依れば右は前記五名の者が本年三月上旬より八月迄の間に京都大阪地方より藥品銅版、原紙等を購入し前記幾太郎方に於て百圓紙幣を寫眞版に作成し藥品原紙を使用して百圓紙幣十萬圓の僞造を企て居るものなりと云ふ尚京都大阪方面に連累者ある見込にて引續き取調べ中なるが事件は尚ほ擴大の模樣なりと(岡山電報)

歸順頻々 義州方面 人心善化

平安北道義州郡枇峴兩地方は從來不逞鮮人の策源地として[illegible]從つて同地方の民心著しく惡化し居りしが最近に於て新義州警察署の捜査の敏活なる出動に依りて不逞鮮人の首魁洪碩及其部下を全滅し更に官合劃を根底より絶滅せるより同方面の民心は漸く變化を來すに至り現に同地方良民は面洞里會中不逞鮮人と氣脈を通じ居る者の如きに對しては此際斷乎たる所置を採られん事を官廳に申出で或は不逞鮮人の群に投じつゝありし者にして飜然醒悟する者あるに至れるが數日前も新義州署に歸順を願ひ出たる者あり(新義州)

本年の犯罪數 ‖一月から十一月まで‖ 此麽數字を示してゐる 思へ、警察官の勞苦

何處の會社も又役所もボーナスを懷にして年末の忙しさを横目に見て居るが獨り警察官のみは一年中の休まる暇がないのは氣の毒である又感謝すべきである本年一月から十一月迄市内各署(龍山除く)の犯罪數を見れば京城市内は百鬼夜行の狀態で寒心に堪へないが警察官の不眠不休に依りよく是等惡漢を檢擧し一般人民が安眠の夢を貪る事が出來るのである先づ

本町署 では二月黄金町二丁目金貸業夫婦殺を筆頭に強盜十六件、檢擧八、竊盜二千六百七十六件、詐欺三百十九件、横領二百七十九件其他四百六十一件總計三千八百二十四件、內檢擧千八百四十七件

鍾路署 強盜四十九件、檢擧卅七件、竊盜千三百六十二件、詐欺二百五十件、横領百四十三件其他百四十八件總計二千百五十四件 內檢擧千六百十八件

西大門署 強盜八件、檢擧八件、竊盜二百八十一件で檢擧五百卅七件、詐欺横領で四十六件其の他總計四百二十一件に對し檢擧七百四十八件に及んで居る

東大門署 強盜八件、內檢擧四件、竊盜百八十五件で二百卅件の檢擧其他總計四百十八件に對し四百十件の檢擧である右四署で六千四百十七件の發生件數に對し四千三百廿三件を檢擧して居る是等犯罪に依る金額は莫大なるもので本町署でも六七十萬圓を下らず鍾路署被害見高は十萬四千九百圓に上り東大門署の分では被害發見殆ど其の二萬五千百七十七圓に對し發見六十八萬五百廿六圓西大門被害六十二萬三千五百七十二圓で發見高は幾分增額して居る斯の如く十萬圓に及んで居る被害額のみでも百五十萬圓を下らず多くは被害者側にも責の一端は負ふ可きであらう凡て不注意から盗兒に隙を與へる事或は一攫千金を夢みて往々詐欺師の手玉に乘つては日も常られぬ悲劇を醸み或は意外の喜劇を産む事も多く犯罪豫防策としては各自の注意であらう右犯罪は何れも裁判所に送られた者である

盧善敬逮捕 上海假政府財務總長の息子

上海假政府財務總長盧伯麟の倅盧善敬(二)は假政府の命を受け合併資本夫及黄海道方面に出沒活動を始め二三日前安東縣に來たり潜伏中なりしを安東縣警察部國吉刑事の爲め二十五日午前十時逮捕せられたり尚は獨立運動に深き關係ある鮮人北京大學生三名一二日前竊かに安東縣に入り込みたるを國吉刑事等に逮捕せられたるが其の犯跡頗る大なるものあるが如し(安東縣特電)

賊を逃がす

平北道觀察警察署管下楊市駐在所巡査三名は去る十九日新義州方面より數名の不逞鮮人同郡管内に潜入せりとの通報に接し直に逮捕に向ひたるに所在を探知し其一名を捕らへ歸途楊市に入らんとする地點に於て件の賊は激しく抵抗し三名の巡査を手古摺らせ遂に逃走せしより警官隊は時を移さず追跡せるも終に逸したりと(新義州)

來年度府豫算 都市計畫や一般新施設で愼重な考慮を要する 某當局者談

京城府廳の來年度豫算に關しては[illegible]來年のことを云へば鬼が笑ふと云ふ其の通りであるが未だ確定豫算の新事業の斷立は大體に於て[illegible]或は削減され、或は苦心ふ得ず[illegible]を見せて市民をあッと云はせる

一月下旬 に至るだらうと[illegible]されてゐる、府當局者は語る「時代の潮流に掉して京城府の都市計畫や一般の施設事が施行してゆくに伴ひ當局の愼重な考慮を要する事が頗る多い[illegible]

新稅徵收 と云ふ事も果して賦課し得るや否やは疑問と云はねばならぬが九年度に於て來た營業稅其他のもので現れて來た缺陥だけは補足しなければならぬ、新稅と云つた處で要するに其位のものに過ぎぬだらうが兎に角今の場合

新事業に 就ては資金の點に依つて觀迫された位のもので此上は豫算會議の確定した結果を見なければ確實なことは云はれない譯である、若しそれが誠しやかに論議された處で夫れは暗中模索で眞實の結果は遲くとも二月中旬までは時間を要するのであると云つてゐるが

學務では 十年度に於て第二女高校及び甲種商業程度の實業學校をも建設する案を立てゐるらしい

府内の小火

廿五日午後五時四十分頃鍾路一の一九[illegible]方から發火したが[illegible]

離婚訴訟 妙齡の美人

[illegible]ふ珍奇の訴訟があつた夫は『離婚請求事件』で今度が三回目の公判である妻から夫に對して

離別せよ と云ふので原告は府內樓下洞一八六梁婉默こいひ當年十八歲、細君づきの美人である被告は京畿道龍仁郡器興面上葛里沈文澤と云ふ卅五歲になる豪農の主人公で夫婦が

華燭の典 を擧げたのは大正五年十二月廿日、被告が當時十二歲の少女たる原告を娶る結婚條件として原告家族の生活費を補助する約定で原告と結婚し兎も角も五箇年に亘る今日まで夫婦として同棲はして來たが原告の婉默も十八歲と云ふ

花も盛り の年頃になつて現在の夫では將來の慾望を達し得ないと云ふのが原告の離婚請求原因であるこれに對し夫たる被告が

何麽抗辯 を爲しつゝあるかは三回までも傍聽禁止の事件であるから到底其の內容を知るに由なきも更に一月八日第四回の公判を開くとのことである何れ雙方に言ひ分があることであらう裁判の方が容易につかず裁判長も判決に骨を折るであらう

內地……朝鮮 面積人口比較 興味ある數字を看よ

朝鮮が內地の何處丈あるかと云ふ比較は[illegible]島渡來人には分りにくいが內地と朝鮮との種々の比較は却々興味のある問題である今其四、五を掲げて見ると朝鮮全道の面積は一萬四千三百十二方里で之を內地に比すると、丁度本州(面積一萬四千五百七十一方里)位のものであるが尚二百五十九方里狹い人口を比較すると

朝鮮の方 は千七百十四萬九千九百九人內地本州は四千四百十八萬三千九百十五人(それは南方共國勢調査戶口調査以前の人口數である事を斷つ)千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城を合した面積二千七十八方里と同じである、處が人口に於ては成南は百二十三萬七千五百六十二人關東區は千十萬八千八百七十六人で

到底比較に ならぬ

人口稀薄で あるか分明する丈から朝鮮內で最も大きい道は咸鏡南道で面積二千七百三十方里之を內地に比すると丁度東京、神奈川、[illegible]縣を除く)面積二千六十九方里に比較しても同區の人口には六百七十六萬五千七百七十五人であるから烏渡五百萬からの相違がある鮮の面積は二千三百三十六方里之を

樺太は面積 に於て二萬八千六百六十八人で到底お話にならぬ面し僅に一郡が一縣に相當するなんて茂山郡守の領內が群馬、大、兩縣知事の領土と同じなんて頗を振つて居る茂山之れが東京市に相當するのも奇

宮崎縣面積 四百八十一方里で內地の宮崎縣に相當する人口にても忠北は七十五萬八千五百三十人宮崎縣は六十二萬七千九百十八人で忠北の方が烏渡百卅萬多い次は朝鮮の郡の中で最も大きいのは咸鏡北道の茂山郡である其面積は四百方里內地の群馬縣面積四百七方里大分縣面積四百二方里

群馬縣では 百六萬八千四百四十九人大分縣が九十八萬四千八百六十八人で到底お話にならぬ

之を聞かば 大得意だらう朝鮮の郡の中で最も小さいのは忠北の報恩郡で內地の福島縣石川郡、新潟縣三島郡岡山縣勝田郡、山口縣大津郡と同じく何れも二十二方里である其れから全道の面の中で最も小さいのは忠北清州郡清州面の五方里で之れが東京市に相當するのも奇

神奈川縣 百十一萬二千八百六十八人に比べると將に五十九萬十七方里に相當するが人口は三十二萬九百卅一人

內地の下關 と靜岡縣の江尻間五百九十三哩に相當する其れから國境を見ると豆滿江の長流は三百二十二哩鴨綠江が四百九十一哩計八百十三哩であつて之れは下の關から栃木縣の黑磯迄八百六哩に相當する最後に朝鮮の海岸線を調べて見ると五千六百九十一哩であつて樺太港間四千七百九十一里横濱間三千四百四十五哩よりずつと長いのである

降頻る雪を冒して ピンポン大會盛況 雪の日の靜寂を破る ラケットの響選手の懸聲 第一回の公開競技 體育商會主催本社後援

體育商會主催本社後援のピンポン大會は京城の天地を銀世界に化した雪の日曜廿六日の午前十時より南山町公立京城高等女學校に於て擧行

降頻る雪 を冒して會場に詰かけた選手觀衆を接して定刻數十の健兒登集、岡部、森、大野等協賛役員有志の審判二個のコートを並んで第一回戰に入る京城を並べて退いた手練の猛者も早からず遂に半數は打敗れて失權となり正午更に第二回戰の抽籤を終り第二回戰に入る此日積雪尺に近い大雪の爲め婦人連の出場者一人もなく唯僅に觀衆として數人のうち若い婦人が高級雜誌に紅一點の綱を示し居るのみ斯て

第二回戰 は愈白熱戰に入り球を打つラケットの輕い響きと誰も興奮する選手の懸け聲が雪の日の靜寂を破つて大會の氣分を緊張させて行つた番組は左の如し(午後二時記)

第一回戰 に惜くも[illegible]

第一回戰 勝 負

佐竹(殖銀)……山田(高商)
小野(一高)……寺田(高商)
宗像(京印)……高平(商銀)
難波(商銀)……森(一銀)
佐藤(殖銀)……山口(殖銀)
原(鮮銀)……大木(一銀)
岩淵(鮮銀)……松浦(京倶)
湯山(高商)……木野(一銀)
松田(商銀)……駿部(高商)
田中(十八)……寺尾(高商)
三輪(醫專)……青木(高銀)
慶(商銀)……森川(京倶)
藤井(十八)……小林(高商)
谷川(商銀)……金久保(醫專)
砂田(高等)……森(商銀)
門田見(專賣)……岩谷(鐵道)
林田(高商)……木村(商銀)
長濱(龍中)……古屋(醫專)
園(遞信)……篠島(京倶)
久保(醫專)……大野(鮮銀)
武鍋(高商)……木川(十八)
齋藤(櫻小)……稻荷(工專)
大野(商銀)……富田(一銀)
櫻井(商銀)……小原(鮮銀)
內田(醫專)……永田(商銀)
山內(京印)……竹村(遞信)
森永(商銀)……孫(天道)
良(十八)……關(高商)
河瀨(高商)……谷山(高商)
仙本(商銀)……筒井(東大)
岡田(鮮銀)……梅原(十八)
齋藤(商銀)……小路(殖銀)
平山(高商)……金(天道)
菊井(鮮銀)……諸岡(工專)
三輪(醫專)……青木(商銀)
岡部(商銀)……古賀(鮮銀)
井上(殖銀)……松村(京倶)

本社優勝旗爭奪 全鮮歌留多大會

會費會則其他追つて發表

期日 新春一月十六日
場所 京城南山町梅の家

主催 京城日報社

奉佛式 盛況を極む 海印寺布敎所

海印寺經營の佛教中央布教堂の奉佛式は二十五日午後二時より永成門跡の同布教所に於て嚴肅に執行されたるが善男善女の集まるもの數百名に達し總督府よりは柴田學務局長及半井宗教課長參列し其他各宗の代表者各銀行會社の代表者府協議員其他民間有志百餘名に達し頗る盛況を呈したり

印紙稅注意

京城府に於ては歲末大賣出の際に於ける印紙稅の檢查は或は商取引の支障を招く虞なきにあらざるを顧念し歲末時の檢查は是れを見合せ更に夫れに代るべき施設として府內問屋業者其の他重なる商工業者三千人に對し印刷物を配付し以て相當注意を促す處ありたり印紙稅納稅者は之を除き印紙稅納稅上萬遺漏なきを期せらる、樣希望すと府の當局は語れり

クリスマス

▲日本メソヂスト京城教會 雪深い廿五日午後六時半から同教會で催されたクリスマスには小さい胸に此の夜の喜びをおどらせて集ふ少年少女の群は數知れない會場背景のスレームの星は金色に輝き群れ遊ぶ羊の群はいよ〳〵和の色を深うせらるゝやがて妙なる樂の音の流れによりて上田氏司會の下に祝いの森は開かれプログラムに入り可愛いゝ少年少女の唱歌やあどけない子の舌の廻りかれるお話やら對話、暗誦、などありて樂しみは盡きない、この間中央のクリスマツリーからは金銀のモール無數の灯火など絶ゆすキラ〳〵と燃び光りを送つて信者の胸も一樣にてりかゞやく後サンタクロースの數々のおみやげの分與があつて散樂の幕は閉ぢられた

▲組合基督教會日曜學校 基督教會及日曜學校生徒一百餘名は二十六日基督の生誕を祝し同時に病院敎會を訪問すべく大旗樂隊を先頭にクリスマツリー次に少年、少女教役者會員は小旗を打振り午後雪中の市內を練り廻り病院教會其他に賀狀文[illegible]

きれいな菓子の箱詰、紐もの 明治町 電二八七〇 木村屋

演藝案內

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 番 ◎十二月廿四日より松尾の大寫眞◎寶劇『靜の曲藝』◎新派劇『策略成功』長尺 大阪每日新聞所蔵 井上格翠氏原作 新派悲劇『姉と妹』全五卷 山本、藤野、東、衣笠一派總出演

近代の銃士 全五卷 ◎大活劇 ドーグラス・フエーアバンクス君最近の大傑作

黃金館 黃金町 電一六三七 ◎新派悲劇『中將姬』全六卷 ◎大活劇 散る花咲く花

魔人 全十六篇三十三卷

喜樂館 本町一丁目 電五九七番 ◎舊劇 觀音丹治 全五卷 ◎孤島の花 全五卷 ◎虎の足跡 四卷

浪花館 明治町 電話一六〇番

壽館 電話七八九番

加藤清正公一代記

流經新藥 レスクリン 月經 常盤藥院 大阪北區曾根崎上二丁目三六地 振替大阪一八三七〇番

畑硝子工場 京城古市町 電話二七四六

朝鮮 大正九年十二月號 一部定價廿五錢(郵稅金貳錢)

○口繪 ○總督論告 ○教育令改正に就て ○全鮮實業大會 ○朝鮮に於ける專用 ○國民衞生ミチフス豫防 ○大正九年誌 ○附錄 大正九年(自七月至十二月)

內科 小兒科 村上病院 院長 醫學士 村上龍 京城永樂町一丁目

日鮮 雙解 警察用語 鮮語研習者必携 京城本町 ウツボヤ書店

東上中ニ付年末年始缺禮仕候 黃海社社長 松山常次郎

新著 到荷 鈴木文具店 京城三坂小學校前 發賣元

商標 新案 教育かるた 京城三坂小學校長朝野先生閱 京城三坂小學校訓導故田邊先生考案 教育上も有益にして誠に面白くして教育上玩具界の覇王なりクリスマス年末年始の贈答品として最適品なり

常松商店

借款正式調印

[illegible]

生命保險の計畫

內地保險會社又は外國保險會社の營業振りに依りて資金を鮮外に流出せしむる從つて[illegible]生命保險會社の設立は朝鮮に於ける死亡統計の確實を缺き[illegible]

水町大佐事件と英議會

天津[illegible]にて正式に調印されたり(上海電報)

天氣豫報

打撃多き産業界（下）

財界變動の朝鮮産業界に及ぼしたる影響

總督府鑛務課長 黒木吉郎氏談

黒鉛業

一時盛況を極めた本鑛業も亦二三年前より著しく不況に陥り殆ど沈衰の極に在りたるも鱗狀黒鉛は内地に於ける前年來の滯貨漸く消化されて土狀黒鉛は近時海外よりの注文増加する傾向あり前途復活の曙光を認めるも財界の變調に過ぎざりしを以て財界の變調は何等交渉する所なしといふべし

石炭界

鑛業界が著しく不振の狀態に在るに際し獨り石炭は内地炭界の好況に伴ひ著しく活氣を呈し至る可く期待されたるに拘らず財界變調に依り前年に比し未だ著しき發展を示すに至らず

稼行せる炭山

現時稼行せる炭山は無煙炭に在りては平壤鑛業所、大寶、江東、大成等の炭山にして褐炭に在りては慶州、長鬐、鳳山、新州、通川、咸興、朱乙、甫近、松本、羅南、羅北、鳳儀、八乙、大丸、竹海、古乾原、其他合計十七炭山なり

輸移出狀況

鑛産物輸移出狀況に付いて之を觀るに本年一月より十一月に至る期間に於て四千七十七萬九千二百九十一圓にして前年同期に比し一千八百四十五萬二千七百五十二圓即ち八割三分の増加を來し甚だしき盛況を呈するを見るは之れ兼二浦製鐵所製鋼設備の完成により

鋼鐵の産額

増加せるミ金地金の北支那滿洲地方より輸入増加等に依るものにして金鑛、亜鉛鑛、含金銀粗銅等主要鑛産物の輸移出額は鑛業界不況の爲め減少を示すに至れり

鑛物輸移出表

種別	九年（圓）	八年（圓）	增減
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

米豆檢査問題

平南道の米豆檢査問題に就て道當局は一層徹底的協議を重ねたる結果大體の意見纏り十一月を以て新規の方針に依る檢査の實施を見るに至り[illegible]

成南道議員任命

二十日附を以て左記の如く任命二十三日發表せられたるが總數二十五名にして官選八名民選十七名合計二十五名なり因に蠕川郡は都合に依り報告未達の爲め茲に一兩日中に發表せらるべし（成興）

（以上官選）[illegible]

咸興學議員選擧

咸興面學校評議員は二十日付を以て夫れ／＼各郡一齊に任命せられたるが未だ細便其他の都合に依り大部分報告未達の由なる右の内咸興郡に於いて任命せられたるもの左の如し（咸興）[illegible]

仁川學議會

仁川學校組合にては二十五日午後組合會議を招集したるが附議事項中仁川學校組合金庫事務取扱規程を新に制定し本年十一月施行する[illegible]

坑木會社總會

[illegible]株式會社第一回定時總會は二十二日午後一時より安東公會堂に於て開催本期の純益金は三十六萬五千八百九十九圓にして非常の好成績を示した[illegible]

商工役員會

[illegible]

疑問とされて居る何

[illegible]

南浦水道狀況

鎭南浦水道事務所にては水源池の貯水減少せる爲め本月廿四日より一日の給水を中止する[illegible]

滿洲建材總會

[illegible]

取引所課税で仁川府の台所にも大恐慌を來すだらう

已むを得ずば戸別税復活か

[illegible]

新財源として

[illegible]

而も其の税制

[illegible]

附加税の名目

[illegible]

内鮮融合講演

機關雜誌發行

[illegible]

前公職者へ記念品贈呈

平壤府にては二十二日午後二時より府廳樓上に於て前府協議員道參事に對し記念品贈呈式を擧行[illegible]

二旒の優勝旗

我が社局に寄贈の仁川チームへ授與の精巧にして優美

[illegible]

營口より

[illegible]

毛布は極度の大暴落

本位の關谷から直接買へば市價の半値段

經濟界の不況

[illegible]

製造直接販賣

優良品大廉賣

五萬組限 製産實價の大廉賣

二枚續き 鼠毛布 定價特二圓七十錢

二枚續き 茶毛布 定價特四圓三十錢

二枚續き 白毛布 定價特五圓五十錢

一枚 ラクダ毛布 定價特八圓八十錢

二枚續き 赤毛布 定價特五圓五十錢

注文はハガキ

毛布製造發賣元 關谷商店 東京市日本橋區本石町三丁目十番地 電話本局四二三三番 振替東京四四一三番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町一丁目 電話長五八番 振替貯金京城一九四番

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町壹丁目 電話二一〇二番

灘酒の模範 純良無比 石崎株式會社釀

入院隨意 京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 電話一八番 一六〇番 酒井一郎

生活改善同盟會より推奨せられたる服地用コール天に就て

近來屢々都下各新聞紙に報道せられつゝある生活改善同盟會推獎の服地用コール天に就ては輸入防遏國産獎勵の目的を以て數年以來の懸案になるものであつたが今回一般顧客且つは同會の御薦めにより愈々具體的に發表する機會を得るのであります。

既に御承知の通りコール天は普通毛織物に比し保溫並に耐久力に於て非常に優れ價格も遙かに廉く洋服地には至極適當な實用經濟的のもので殊に弊社は本邦業界の始祖であり且つ權威として江湖に目されて居りましたが今回端なくも伊藤博邦公を會長と仰ぐ生活改善同盟會服裝調査委員諸氏より㊥コール天を唯一無比の服地として是非江湖に推獎したしとの事に本社も大ひに面目を得愈々博く御家庭に供給すべく製造其他に關し服地用として獨特の加工法を用ひ嚴密周到なる注意を拂ひ内外諸般の設備を擴張するに至つたのであります。

最近新聞記事を見られた方々が續々其の發賣元を各新聞社に御照會せられる由聞及びましたので念の爲め紙面を藉りて些か御披露に及ぶ次第であります。

㊥コール天 オニタビ 發賣元 東京大傳馬町 ㊥寺田合名會社 電話浪花四四四〇 四五三一 特長 長 振替口座東京七九番

慶安太平記

第五十四席　小金井芦洲講演

酒盃も段々ご用なり忠彌は思ひの外に盃酊をいたしたる頃ほひ正『さて丸橋先生』忠『改まつてのお呼び立は如何なる事でござる』正『イャ少々お願ひ致したきごがござる』忠『ホゥ身共に叶ひまする事なれば何でも承はりませう』正『左様に仰せらるゝご實に申しよい譯で、實は明日より改めて門人一同へ寶藏院の槍術を御指南を願ひたく存ずるが如何でござりませう、甚だ勝手ヶ間敷い事でござるが、お茶の水のお住居より當榎町までは左もたる隔だりでもござらぬから、隔日に迎ひの者を差出しますに依つて、御足勞を願ふ譯には相成りませぬか』忠彌に於ては榮辱の念の高まつて居るこゝろへ以て來て、斯う言はれたのですから、否應はありませぬ忠『未熟なる槍術ではござるが、左程までに御懇望とあれば、如何にも御前お言葉に從つて、隔日出張いたしませう』正『これは〱、早速ごお聞き濟み下し置かれて、誠に忝けなく存じます、左様なれば明後日より』忠『委細心得ました』ご此處で忠彌が張孔堂へ來て、門弟へ槍術の指南を致すごとになつた。忠『お接待に與つて、思はぬ長座をいたしましたが、今日はこれにてお暇み……』正『マア宜しい御寛ご』忠『イャ又後日を期して』正『左様なれば甚だ粗略を申上げました』忠『では失禮仕る』歸途は斯うなる乗物まで用意をして與れる、それへ乗つて忠彌好い心持にお茶の水の道場へ歸りましたが、その翌々日から約束によつて、由井の方から迎ひが來るから、丸橋忠彌は隔日に榎町の張孔堂へ行つては稽古を付ける、一日は自分の道場で多くの門弟に稽古を付け、一日は牛込榎町の道場へ往つて稽古を付けるごいふ、その事が江戸の市中に擴ごと渡つた、何しろ天下随一の鎗術家ご言はれる丸橋忠彌が、正雪の所へ隔日に出張をするごいふので、愈以て入門する者は引きも切らずご云ふ有様、張孔堂の勢力は一層に高まりました、すると其輪に居りました柴田三郎兵衛を初めごして、加藤市右衛門、奥村なんご、言ふ人々が『ハヽァ到頭忠彌は魅せられて仕舞つたな、忠彌ご言ふ男は槍を取つては實に天下に敵なき程の妙手を有つて居るか、人間はごうも短氣粗暴で深慮遠謀ご言ふ事に缺けた男だ、困つたものだ』ご思つて、相共に忠彌の身の上を憂慮いたして居りますご或日の事、忠彌が柴田の所へ出掛けて來て忠『イャ、ごうも義兄先達ては甚だ失禮を申した、逸言葉の行違ひからして絶交をするなご、顔を赤らめて相別れたが、考へて見るご拙者が惡かつた、その後緣を求めて牛込榎町の張孔堂正雪を尋ね、一手試合をしたが、却々ごうして恐れ入つたもので、始めは云々、終りは斯々の次第で、山師ごばッかし思つて居たが、立合をして見るご實に彼の懐中の底潤な事、加之に武藝は萬事に通じて居るのには全く一驚を喫した、尤も槍を取つては後れる心持は無論ないが、その他の事になるご、拙者なごは全く師事して可い、アリャ實に偉い者だ』三『ハヽァ到頭張孔堂に魅せられたな、忠彌ごうも御身は深慮遠謀ごいふ事が缺けて居るから困る、縱し又それ程に勝れたる人間であつたにしたごころで、御身は一流を以て天下に聞こゆる鎗術者だ、此の節世間の噂を聞けば、隔日に張孔堂の道場へ出張するご言ふぢやないか、それが自分が道場が無いではなし、何もお前が牛込までも運ばんでも好からう、第一お身の威厳の上にも關つて來る話だが何ごか往く事は一つ考へ直したらごうだ』

料理 南山莊 電話一五三三番

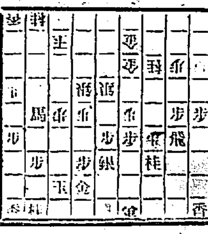
將棋新手合（四）

於京城黄金町三丁目二三五 滿呂木將棋所

飛香落　六段▲滿呂木光治（京城）　初段△桑尾銀之助（京城）

（圖は前號指了迄の局面）

△持駒　桑尾氏銀步步



續手▼

△四五桂 ▲同桂 △同步 ▲七六桂 △七七步（ホ） ▲六八桂ナル △同銀 ▲三七步ナル △五五桂 ▲五一金 △四四步 ▲三五角 △一六飛 ▲八八步 △四六步 ▲四四角 △四五步 ▲二二角（ヘ） △八八玉 ▲七三桂 △八六馬 ▲八五步 △九七馬 ▲五二金ヨル △一四步 ▲四七と（以下次號）

滿呂木六段講評

△（ホ）七七步打ち崩し此處五五桂と指す方面白し

▲（ヘ）二二角引き一旦三三角と引く處なり

運勢

十二月廿八日　舊暦十一月十九日　▲水曜日 ▲庚申 ▲四緑 ▲大安 ▲宿 ▲成

▼四緑▲獲物を掴む如き損失ある日常業以外に手出せぬが安全

▼五黄▲晴々しからず唯秩序を守りて進めば案外の利益ある日

▼六白▲薄氷を踏むが如き日獨斷專行大難を醸す食物にも注意

▼七赤▲名も實も共に擧がらざる日男子は女子との交際を忌む

▼八白▲三分通り凶七分通りは吉の日自ら行ひを愼みて上首尾

▼九紫▲上運の日迷ひを去りて眞面目に働かば存外の利益あり

▼一白▲情誼厚き日舊知の人より意外の助力を得るやも知れず

▼二黒▲上へも下へも當り散らしたがる日安進大失態を惹起す

▼三碧▲發展の日少々の事は腹立たず午前中は殊更都合よき日

商業登記公告

支配人選任。支配人ノ氏名住所 振威郡丙面平澤里八十番地 [illegible] 共立合名會社 [illegible] 支配人 [illegible] 右大正九年十二月二十五日登記

京城地方法院 平澤出張所

新年號 大鵬

拓殖新報改題創刊

張翼雄飛し大偉觀本誌に見よ

■卷頭言 大鵬生る　男爵 後藤新平

■政界昔評 原寺内と俺　靄軒逸人

浮沈定めなき政界の表裏を描いて原寺内の面目を躍如たらしむ筆者靄軒とは誰ぞ、叙する處日比谷燒打事件あり樞密顧問官問題あり是を一篇の政界裏面史と見るも可

■植民政策の改造　末松偕一郎

■朝鮮問題の眞諦　持地六三郎

■新生面を打開せよ　仲小路廉

■十億長者安田善次郎　■朝鮮人物觀　鹿山隱士

■臺銀頭取中川小十郎　■獨逸の將來　森孝三

▽口繪寫眞 ▽時事吟 ▽阪二十頁 ▽陽山見煙

□北海道の新人物

□開かれたる寶庫

□洋行土産　石本男爵夫人　山内柳子夫人

□空筒硝子の製る迄

□景氣な滿洲景氣

▽植民文藝懸賞募集 ▽一等百圓 ▽二等五十圓

■新拓殖局次長後藤祐明

■臺灣電力會社の將來

□快湖海鳴の歌　兒玉花外

□政局一夕話　覆面國士

□春蚓秋蛇語　大庭柯公

□啄木鳥の音　横山健堂

□情話 流轉の女　夢抱く人

□早春（歌）　與謝野晶子

■現時の朝鮮　ブランド

■義太夫虎の卷　齊東野人

■世界第一の親日國　東孤竹

■地上の極樂境ブラジル　池田蘚

■植民地の夫婦（小說）　上司小劍

描寫の精緻を以て文壇に獨自の地歩を占むる小劍氏が材を朝鮮にとれる最近の力作

■馬來俳優の死（小說）　岡本綺堂

混血の青年俳優が妖艶花の如き白人娘の戀愛に溺れて不思議の最後を遂ぐる物語

■朝夷朝鮮異聞（新講談）　井上劍花坊

定價六拾錢　東京芝區佐久間町　拓殖新報社　振替東京二七三三

あからが赤毛染 わかやちぎ

一、髪洗せず染付き完全

二、僅か廿分にて漆黑の美毛となること請合

三、毛質を害せずクセ毛を矯正す

四、洗うても褪めず剝げず永く保つ

五、染上後襟枕等に着く憂ひ絶對になし

六、如何程澤山の毛髪でも一壜にて充分染まる

定價金五拾錢　全國到る處の藥店にあり

東京醫科大學藥劑師五氏　共力創製

東京理髪美容學顧問 美容術顧問　澤島氏推

大日本美髪會 學藥師　伊藤氏選

發賣元 猫イラズ本舗 東京日本橋本石町 成毛英之助商店

猫イラズ九州支店 佐賀市白山町

登錄商標 女神印

八千代防寒羅紗マント

先づ地質見本と特價表を請求せられよ（ハガキで申込紙代進呈）其地質の優良と安價なるに驚くべし

今春以來の大暴落で羅紗類も下落の [illegible] 時局の影響で在荷の處分方々以て海外迄歡迎せられた八千代羅紗も時界の影響で在荷の處分方々既製品部發展の前提として原料や工賃の下落を幸ひ左記三通を設新式流行型に入念仕立上げ賓物提供の好機を逸せず直に見本請求し成程と御了解註文あれ

（特價表）◎特製マント（頭巾肩掛付）

二尺五寸　八圓三十錢 / 三尺　九圓七十錢 / 三尺三寸　十一圓二十錢 / 三尺五寸　十二圓 / 三尺七寸　十三圓 / 四尺　十四圓 [illegible]

◎二重トンビ　三尺七寸　十六圓五十錢 / 四尺　十七圓三十錢 / 四尺三寸　十七圓七十錢

◎モジリ外套（頭巾付）　三尺七寸　十三圓五十錢 / 四尺　十四圓

寸法は曲尺 色は黑紺鼠茶の三種 前金注文は送料不要 ハガキ註文 代金引換送

東京市牛込區市ケ谷町九段坂 八千代羅紗既製品部 電話番町五四一二番 振替東京三六五六四番

ぜん息　鼻病　腦病　で苦しむ人は無いか

世の中にぜんそく、はなの病、腦病の藥は澤山あります。本當に良く効く藥は極めて少いのであります私が皆さんに差上げる藥は世間にありふれた藥の樣に永く用ひなければ効き目が判らない樣な藥ではなく全然違ひ鼻に挿して鼻から吸込めばすぐ効き目がある、まぜ物の無い純粋の藥であります人には無代で [illegible] 東京市外 [illegible] 上田顯藥所

▲何人にてもわかる ▲奥儀秘傳開放

男女一代の運勢

人は一寸先の事が知れぬ運命は互に持つて生れたる榮枯盛衰は其人の行動にある勝堂獨行の男女一代の運勢は百年後の事柄も千里先の男心女心も手にとる如く看破する事が出來る自己の運命を知り他人の運命を知り立身出世したき者は是非一讀せよ今回十萬人限り特價送料共で金六十錢にて分本す代金は [illegible] はハガキで申込次第送本す但し送料八錢増し

▲東京牛込通寺町廿一 ▲竹生英堂 ▼振替貯金東京二九四〇番

▲市子 ▲みこ 口よせの術

何人にもわかる秘密部フリカナ附で記述してある今回參百人限り金壹圓卅錢にて秘密に分本す

東京牛込區通寺町 竹生英堂 振替東京二九四〇番

内科、小兒科　仁川仲町　高木病院　電話七一九番

京日案内

家寶賴山陽眞筆 [illegible] 讓渡し度し 御希望の方は電話一四二二番へ

外勤社員募集　市内黄金町二（印刷出版業）　東亞出版會社

●內地人 女給仕採用　要普通學履歴書持參至急來談アレ　京城南大門通　内國通運株式會社

毛皮なめし並に仕立　鳥獸類標本調製 鳥毛皮類買入　京城本町二 [illegible] 電話長二〇六五番

古本高價買入　是非御試め乞ふ　本町二丁目　群書堂　電話 [illegible]

そば粉 並に粉類一切製造　京城 大塚製粉所

金銀美術品裝身具製作販賣並に彫刻　貴寶堂

明治防疫 サック [illegible]

小便袋 [illegible] 丁子堂 東京芝區 [illegible]

高級総ゴム靴

改善せる櫻組のゴム靴は從來の缺點を一掃し [illegible]

見本特價　長靴 壹圓七拾錢　美錠止 四圓五十錢　中長靴 七圓八十錢

販賣店大募集

株式會社 櫻組　東京市京橋區 [illegible]

月賦賣出し　英國式 サクセス スポーツホーム號　イバラキ商店　京城黄金町二 電話二九二七番

賛化病院　内科 小兒科 入院隨意　每日五名に限り施療す　醫學博士 古城憲治

珍書肉布團　一見忽ち勞苦を忘る、近來稀有の [illegible]　花中社　東京神田區 振替東京五五三二四

ベルベット石鹼

▼歳暮大賣出し

全國到る處第一流の小間物化粧品店及び諸雑貨店に就き御購求被下度奉希上候

製造元 神戸 日本リーバーブラザース株式會社

資本金六百五十萬圓 積立金操越金百四拾六萬圓

株式會社 十八銀行京城支店　京城府黄金町二丁目

同 新龍山支店

同 龍山出張所

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ事務代理取扱申候

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安支店

贈答用 御用　トリスウヰスキー

多の酒は接客用としても保温用としても是非トリスのホツトウヰスキーでなくてはならぬやうに世はもう進んで來て居ります

大阪市東區安土町四丁目 代理店 祭原商店